

令和4年度 1学期終業式

令和4年7月22日(金), 1学期を締めくくる終業式が行われました。今回は新型コロナウイルス感染症が流行し始めたため, リモート形式に変更して実施されました。

はじめに5月下旬～現在までの受賞伝達を行い, 次にこの夏休み中に開催される全国大会や関東大会に出場する部活動の壮行会を行いました。その後, 1学期で任期が終了する生徒会本部役員から挨拶がありました。



受賞伝達



壮行会



生徒会本部役員挨拶

<全国大会出場>

マンドリン部 書道部
百人一首部 山岳部
陸上競技部 なぎなた特別愛好会
囲碁特別愛好会(個人, 団体)

<関東大会出場>

陸上競技部

終業式の式辞では, 濱野校長先生から, 「各自で1学期を振り返ること」, 次に「自分の学びとともに友達の学びも止めないために感染症対策をしっかりと行うこと」という約束事の話がありました。

その後, スライドを用いて, 脳科学的な見地から高女生がお互い高め合うための方法について教えていただきました。心理学的ホメオスタシスの状態から脱するためには, 小さな確実な変化を起こしていくことがポイントである。その小さな変化が習慣化されること(スモールステップ)の繰り返しが全体的な成長に繋がるのだと。脳内の神経伝達物質である「ドーパミン」や「オキシトシン」が分泌されるような工夫を重ね, 高女生みんなで頑張っていこうというエールが送ら

れ、最後にコロナ禍の状況で頑張ってきた生徒や職員へのねぎらいの言葉で式辞は締めくくられました。



『心が変われば行動が変わる。
行動が変われば習慣が変わる。
習慣が変われば人格が変わる。
人格が変われば運命が変わる。』



教室のようす

校歌演奏の後、生徒指導主事、進路指導主事から留意事項や効果的な夏休みの使い方について話がありました。



【濱野高等先生から3年生への応援メッセージ】

全校集会はこれで終わりになりましたが、その後、大事な夏休みを迎える3年生に校長先生から訓示が示されました。

その訓示とは「“悔い”を残さない！」ということ。全力でやったのかそうでないのかは自分にはわからない。最高に高まった状態で、最高のパフォーマンスで本番に臨めたならば、成功したらもちろんのこと、例え失敗したとしても、次に進んだときに必ずいいスタートが切れる、いい人生を送ることができるのだ。全ての人が目指すのはそういった姿勢であり、高女生と一緒に頑張って行って欲しいというものでした。

「ドーパミン、オキシトシンをドバドバ出して、みんなで一緒に最高の夏に！」

